

歯舞漁港 高度衛生管理型施設が供用しました

北海道開発局 釧路開発建設部 根室港湾事務所

釧路開発建設部が整備を進めてきた、歯舞漁港の水産物流通機能強化、及び防災機能の強化を目的とした人工地盤、アクセス道路、並びに耐震岸壁が、8月30日に完成記念式典を終え供用を迎えました。

1. 高度衛生管理施設整備の背景

歯舞漁港は水産物の産地市場を有しており、近隣4漁港の漁獲物が搬入されるなど、圏域の流通拠点として重要な役割を担っていますが、屋根付き岸壁の不足、車両の混雑等による非効率な水産物流通が強いられていました。

このようなことを背景に、平成26年度に「歯舞地区 直轄特定漁港漁場整備事業計画」の変更を行い、歯舞漁業協同組合が計画していた高度衛生管理型市場の整備と連携し、水産物の陸揚げから流通に至る、総合的な衛生管理対策の強化、出荷時の混雑解消や、津波からの一時避難を目的とした人工地盤や耐震岸壁の整備を行いました。

2. 施設の機能

本施設を計画・整備するにあたっては、歯舞漁業協同組合などの関係機関と十分な連携・調整が必要にな

ることから、「衛生管理型漁港づくり検討委員会」を設立し、熟慮と討議をかさねながら高度衛生管理型施設の整備計画を検討してきました。また、漁業関係者は、完成を見据え具体的な施設の運用を確立するために、衛生管理講習会や災害時の避難訓練なども定期的に行ってきました。さらに、歯舞地域マリンビジョンの目標の一つでもある、「漁村・地域の総合的な振興」にも貢献することが重要との観点から、新市場と人工地盤が一体となった、高度な衛生管理機能、水産物流通の効率化機能、防災・減災機能、都市漁村交流機能などの複合的な機能を確保した施設としました。

3. 供用開始

供用式典が終了した翌日からは、早速サケ定置網漁業に利用されており、漁港も活気づいています。今後は業務の効率化を目的に、荷受け・セリなどのペーパーレス化を始め、ICTを活用した新システムの運用が予定されています。さらに、北海道の漁港では初めてとなる、「優良衛生品質管理市場・漁港認定」を目指し、供用後も精力的に取り組んでいるところです。



露天での陸揚状況



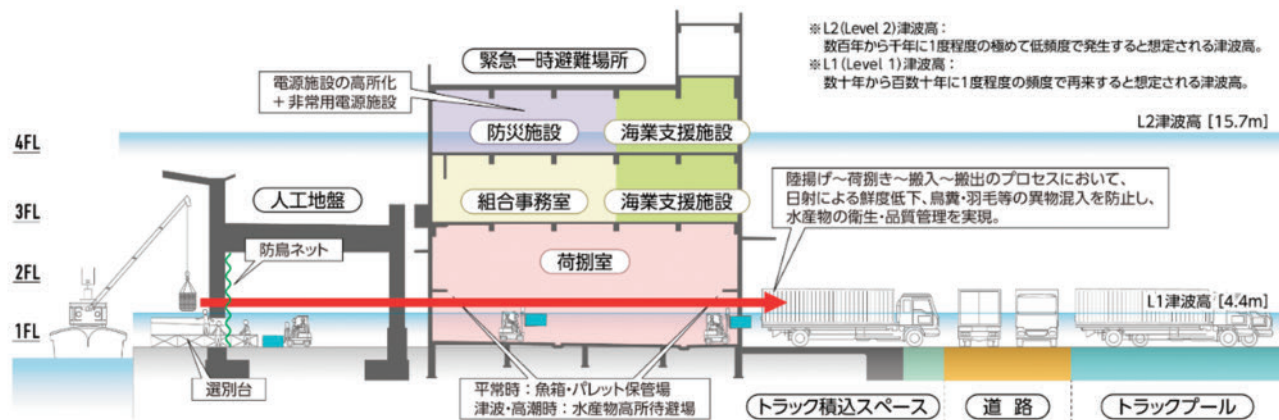
車両の混雑・輻輳状況



完成写真①



完成写真②



施設の断面イメージ



サケ定置網漁船接岸状況



式典状況①



サケ水揚げ状況



式典状況②

4. おわりに

歯舞地区では、北海道の水産業・漁村の目指す姿を定めた「北海道マリンビジョン21」に基づき、「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン」を策定しています。同ビジョンに基づき、「1漁業部会1品運動」による歯舞産水産物のブランド化を推進しており、これまでに「はぼまい昆布しょうゆ」が地域団体商標に認定されるなど、多くの水産物が商標登録され、ブランド化が確立されています。

是非、この機会に歯舞で獲れる海の恵みをご堪能くださいませ。

水産物ブランド化

歯舞漁協では水産物ブランド化に多数取り組んでいます。
[歯舞漁協HP](#)からも確認できます。
 ネットショッピングもできるので、ご自宅へお取り寄せも可能です！
歯舞で獲れる海の幸をぜひご堪能ください！